

# 長谷川くみ子 レポート

〒252-0303 相模原市南区相模大野 7-5-8-106

&lt;事務所&gt;相模原市南区相模大野 6-16-23 ヤマニビル 202

TEL: 042-705-2951 FAX: 042-746-1961

E-mail: haseandk@nifty.com http://hasekumi.com



つくろう！新しい選択肢 相模原 vol 4

## 3月議会報告

## 颯爽の会ニュース

# 人口減少に向きあうために 大型開発より地域のつながりを

3月議会では、所属する無所属議員5人の会派「颯爽の会」としての代表質問を行いました。

予算と予算を組む考え方について13の項目と4つの議案について、市長と教育長に質問しました。

### 政権に振り回される 自治体財政

政治の一番の仕事は、税金の集め方と使い方を決めることです。地方自治体と国の関係では、地方税法など法的しほりも含め国が自治体を圧倒します。

安倍政権は、復興税、マイナンバー制による公共事業、1億総活躍のための補助金等、次々に政策的な税制や補助金を作り、そのたび自治体が振り回さ

れていますが、本当に生きたお金の使い方になっているか、疑問は膨らみます。

一方、地方交付税という、国税を財源にした地方の財源不足を補う機能はあるものの、地方交付税特別会計は破たん寸前です。そのため赤字市債の臨時財政対策債の依存度が高まるばかりです。

### 厳しくなる市財政

2016年度相模原市の一般会計は、2577億円と、過去最大の予算額で、下水道事業や介護保険事業などの特別会計分1938億円を含めると合計で、4515億円です。

市税収入は、固定資産税など伸び、1140億円と、昨年より2.3%の増。その分、臨時財政対策債（赤字市債）が昨年度より30億円減って118億円ですが、市の貯金ともいえる、財政調整基金からは、82億円も取り崩し、年度末の残高が、69

億円と過去最低になります。

財政調整基金の見通しと財政の在り方について、質問しましたが、目標や見通しをはっきり示さない市長の姿勢は疑問が残ります。

### それでも大型開発に 前のめりに

さらに気がかりなのが、大規模開発事業への直接投資をこれからやろうという姿勢で、麻溝台・新磯野地区の土地区画整理事業が具体的な一つです。

村富・相武台線の道路沿いに広がる調整区域だった146haを3分割し、真ん中の38haを、市の責任で区画整理をしようという大がかりな事業です。

地下埋設物の調査に3億8千8百万円を含む、75億6千万円を、「一括包括委託方式」で7年間という異例の長期契約議案が提案されました。

金額では最も高い額を提示した清水建設に決まった理由が、

(ウラへ)

